

介護総合演習Ⅲ

担当教員 吉岡 久美、馬場 敏彰

配当年次 2年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

1. 学習している知識に基づいて、日常生活に援助が必要な高齢者や障がい者の介護ニーズについて説明できる。
2. 高齢者や障がい者の日常生活介護の目的や機能並びに施設職員の役割について説明できる。
3. 日常生活上の支障ある部分に応じた生活支援技術の適正な技法を実践・説明できる。

【授業の展開計画】

科目担当者実務経験

【吉岡】大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）、介護福祉士養成校教員 他

【馬場】介護施設（介護福祉士）、介護福祉士養成校教員 他

週	授 業 の 内 容
1	障がい者支援施設の種類と特徴を理解する（馬場）
2	障がい者支援施設の機能と職員の役割について理解する（馬場）
3	障がいの特徴とコミュニケーション方法について考える（グループワーク）（馬場・吉岡）
4	障がい者支援施設における介護の役割を理解する（馬場）
5	障がい者支援施設と地域、家族の連携について理解する（馬場）
6	実習生としての自己覚知をする（吉岡）
7	チームワークを理解し、実習におけるチームの一員としての関わりを検討する（吉岡）
8	実習記録の重要性を再認識し、具体的記入方法を理解する（吉岡）
9	介護実習Ⅲの目的から自己課題を明確にし、課題解決に向けた対策を考える（馬場）
10	介護実習Ⅲの実習目標を設定し、実践をイメージした行動計画を立案する（馬場・吉岡）
11	実習目標および行動計画を見直して具体化する（馬場・吉岡）
12	介護実習における自己評価項目を作成する（馬場・吉岡）
13	介護実習Ⅲの直前指導として課題を確認し、実習での行動と学習を検討する（馬場・吉岡）
14	介護実習Ⅲを振り返り、課題を整理して報告書を作成する（馬場・吉岡）
15	介護実習Ⅲにおける目標達成度の確認と学びの共有を発表を通して実践する（馬場・吉岡）

【履修上の注意事項】

規定の出席回数を満たしていなければ評価対象としない

シラバスを確認して、単元の事前学習と準備を行い、演習後には課題にとりくむこと

事前・事後学習に要する時間 計60分程度

【評価方法】

演習への積極性、参加態度：60% 提出物（課題・レポート等）：40%

提出されたレポートについてはコメントを入れて返却する

【テキスト】

介護福祉士養成講座編集委員会「介護総合演習・介護実習」 中央法規

【参考文献】

適宜紹介する